

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立男女共同参画推進センター(峡南)	所管課	県民生活部 県民生活総務課
所在地	南巨摩郡南部町内船9353-2	設置年月日 (改築年月日等)	平成8年4月1日
管理方式	公益財団法人やまなし文化学習協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資することを目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 1,555.38㎡ ○建築面積 639.36㎡ ○延床面積 1,099.90㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート造り、地上2階建て ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・1階 団体連絡室(定員:30人)、調理実習室(定員:36人)、相談室、交流コーナー、託児室、休憩室、事務室 ・2階 研修室(1)(2)(定員:200人)、視聴覚・音楽室(定員:40人)、茶華道室(1)(2)(定員:20人)、工芸・美術室(定員:30人)、図書コーナー 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 利用の承認に関する業務 (2) 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3) 男女共同参画に関する学習機会と交流の場の提供に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 南部町総合会館 (2) 南部町文化ホール
------------------------------	---

3 利用状況

単位：人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	入場者数	7,652	7,800	3,093	8,300
	事業参加者数	4,396	4,560	1,808	4,700
	利用者数合計	12,048	12,360	4,901	13,000
	目標値	13,460	13,000	13,000	13,000
	目標値設定の考え方及びその理由	対前年度実績比 概ね3%増	指定管理者指定申請書に基づく		
対平成30年度比		102.6%	40.7%	107.9%	
利用率	5.3%	5.0%	4.9%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		令和元年度	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	210,940	303,000	163,970	177,000
	指定管理者委託料	23,591,761	24,183,000	21,626,967	21,718,000
	その他		1,000		1,000
	収入合計(A)	23,802,701	24,487,000	21,790,937	21,896,000
支出	人件費	13,841,743	14,312,000	12,740,697	12,944,000
	県への納付金				
	管理運営費	9,449,631	10,175,000	8,716,297	8,952,000
	うち外部委託費(B)	3,061,632	3,400,000	3,417,392	3,100,000
支出合計(C)	23,291,374	24,487,000	21,456,994	21,896,000	
収支差額(A-C)	511,327		333,943		
外部委託比率(B÷C)	13.1%	13.9%	15.9%	14.2%	
利用者一人当たりの経費	1,908.7	1,860.2	4,934.3	1,670.6	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期: 令和2年4月～令和3年3月 実施方法: 施設利用者へのアンケート 回答数804人(利用者アンケート:206人、事業アンケート:598人)
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備の充実度	78.5%	21.5%		
施設・設備の整備状態	79.2%	20.8%		
サービスの内容	84.2%	15.3%	0.5%	
事業	87.1%	12.8%	0.1%	
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

利用者の意見	<p>【施設設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策のため、ぴゅあ峡南も大変かと思いますが再び利用することが出来、ありがたいです。 ・仲間づくりの拠点、学びの拠点のぴゅあ峡南が続いてくれることを希望しています。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が社会生活を続ける為には、家族はもちろん周りの協力、サポートが大切で、本人も素直に助けてもらうことが大切ですね。(推進月間記念講演会) ・ハラスメントは、非常に難しい問題であるが、こういった機会を設けて理解を深めていく必要があると感じた。(アウトリーチ事業 職場におけるハラスメント防止講座)
利用者の意見への対応	<p>【施設設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きコロナ対策に万全を期して安心安全に利用できるよう取り組んでいく。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も社会の動向等をふまえ、県民ニーズに応える事業を実施していく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法令、業務計画に基づき、施設の適正な管理・運営に努めた。利用者からの要望や館内点検により設備等の不具合が判明した際は、速やかに修繕を実施するとともに、大規模修繕が必要な案件については、県に報告した。</p> <p>頻発する自然災害に備えて、新たに「台風等の風水害に関する対応マニュアル」を策定するとともに、実際の災害に適切に対応できるよう、職員研修や大規模災害を想定した防災訓練、消防訓練を実施した。また、施設内の避難誘導路の点検を実施した。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大に対しては、感染拡大予防ガイドラインを定めてホームページや窓口において利用者に注意喚起を行うとともに、消毒液、体温計等の感染防止物品を貸し出すなどの対策を講じ、県民が安心して利用できる環境を整えた。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき、施設の維持管理業務が適切に実施されている。</p> <p>引き続き、利用者の安全確保のため、避難経路の環境整備や防犯体制の強化に努めること。</p>
運営業務	<p>設置及び管理条例、施設利用及び利用料金に関する事務取扱要綱、業務計画書に基づき適正に業務を執行した。</p> <p>企画事業については、各市町村の男女共同参画推進員が体系的に学習できる講座を組み立てるなど、地域の人材育成に重点的に取り組むとともに、テーマについても、男女共同参画の実践に繋がる「防災」など身近なものを積極的に取り入れた。</p> <p>また、事業の質の向上を図るため、事業の定員の充足率や、アンケートでの評価などを基準として、講座ごとに5段階で自己評価し、その結果に基づき改善を行うPDCAサイクルの仕組みを導入した。</p> <p>さらに、効果的・効率的な運営を行うため、職員からの業務改善提案制度を導入するとともに、職員の働き方改革を推進するための就業規則の改訂やハラスメント規定の整備等を行った。</p>	<p>業務計画書等に基づき適正に執行されている。企画事業については、地域における男女共同参画の推進拠点として、地域の課題解決に向けた事業を実施している。</p> <p>講座によっては、参加者数が少ないものもあるため、広報を工夫するなど、より多くの人に参加してもらい取り組みをするべき。</p>

<p>利用状況</p>	<p>利用者数については、毎月の実績を基に要因分析を行っているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、閉館や定員の削減などの利用制限、事業の中止などの措置を講じたことにより大きく減少した。</p> <p>閉館措置解除後も各室の定員を3分の1に抑える等の措置を講じざるを得ず、あわせて器楽合奏等、これまで定期的に利用があった団体についても活動を自粛、制限いただいたことも利用者減の要因となった。</p> <p>事業参加者数についても同様に感染拡大の影響を受けた。特に講師を地域に派遣する出前講座事業やアウトリーチ事業では、学校や管内自治体から例年通りの実施を危惧する声が多く、当初の予定回数を実施することが困難となった。</p>	<p>利用者数は前年度より減少し、目標値を下回ったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休館措置や講座の中止によるため、やむを得ない。センターの利用者増に取り組むとともに、若年層に事業への参加を促すため、今後も魅力的な事業の企画やPRの手法、SNSの発信時期など、効果的な方法を検討すること。</p>
<p>収支状況</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により行った約2か月間の閉館措置が影響し、施設利用収入は前年度比:77.7%と大きく減少した。</p> <p>支出についても新型コロナウイルスの影響は大きく、講座配信用PCファイアウォール・ルータなど安全な事業開催を担保するための物品購入費が大きな負担となった。</p> <p>パソコンのリース切り替えがあったこともあり、支払手数料が増えた。</p> <p>光熱水費は利用者の減少に伴い減少した。</p> <p>例年と比して修繕費が抑えられたこともあり、収支の差額として、30万円余が黒字となったが、中長期的、計画的に解消していく。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により利用料収入が大幅に減ったことはやむを得ない。</p> <p>30万円の黒字については、男女共同参画の推進に資する方法での解消に努めていただきたい。</p>
<p>自主事業</p>	<p>例年、地域の男女共同参画拠点である施設を多くの県民が認知し、親しみをもっていただくことを目的としてカジュアルな事業を実施してきたが、事業の性格上、新型コロナウイルス感染拡大が危惧されるため2事業のみの実施とした。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、自主事業の実施が減ったことはやむを得ないが、来場者への男女共同参画の意識啓発の意味合いもあり、センターに来場するきっかけとなる事業でもあるため、コロナ禍でも可能な事業の企画・実施に努めていただきたい。</p>

<p>利用者満足度</p>	<p>施設全般の満足度は、96%の方が「満足」「どちらかといえば満足」と回答しており、また事業満足度については100%近い方が同様に回答しており高い評価をいただいた。 今後も利用者の声を適切な施設管理と事業運営に活かす運営に努めていく。</p>	<p>利用者満足度はいずれの項目も高い評価を得ている。引き続き利用者ニーズの把握に努め、施設の維持管理を適切に行い、利用者にとって快適な環境を提供するとともに、企画事業の充実などにより更なる向上に努めること。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、業務計画書等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。 利用者の要望や館内点検の結果により、施設・設備の不具合箇所が見つかった6件については、速やかに修繕を実施するとともに、大規模修繕が必要な案件については県に報告した。 利用者数の確保に向け、新型コロナウイルスの感染拡大の中、オンライン講座の開催や業界ガイドラインに沿った運営など、なるべく多くの方に参加いただけるよう工夫した取り組みを行ったが、閉館や定員の削減などの利用制限、事業の中止などの措置を講じたことにより、目標値に対して、39.6%であった。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理について、協定及び業務計画書に基づき概ね適正に執行されている。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためガイドラインを策定し、感染防止にも取り組み、利用者の安全の確保に努めた。 オンライン講座のための機器を導入したため、十分に活用し、コロナ禍においても多くの人に受講してもらえるよう、積極的なPRをするなどの取り組みが必要である。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、利用者は減少したが、男女共同参画の推進拠点として、地域で活動する団体や教育機関等と連携し、男女の健康増進講座や子育て支援講座など、特に高齢化が進む峡南地域の課題解決のための実践的な事業実施に努めた。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

